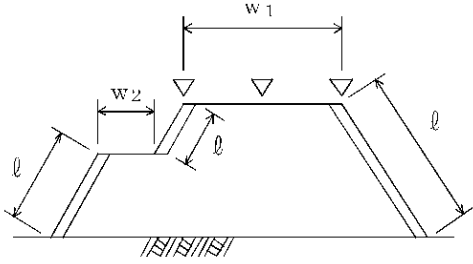
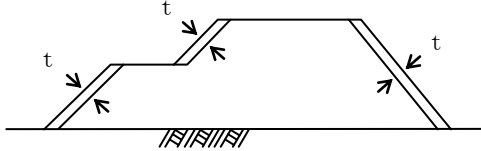
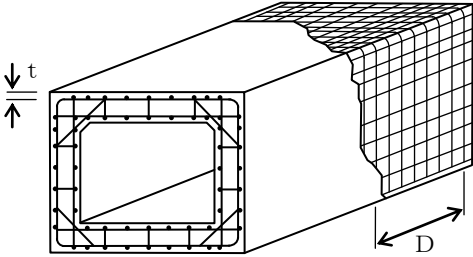


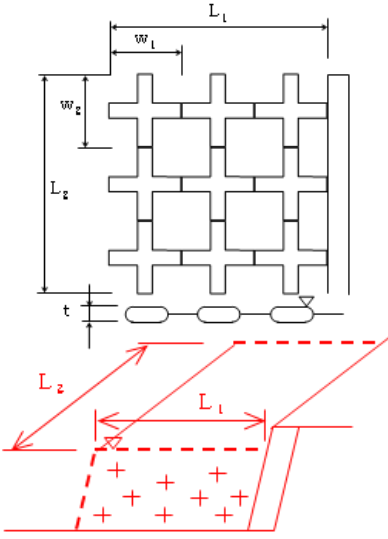
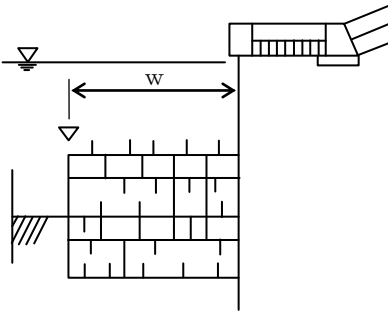
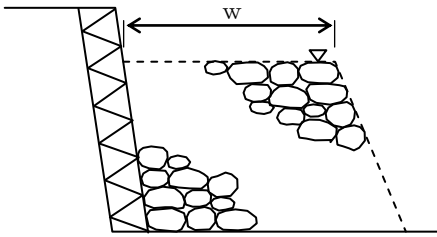
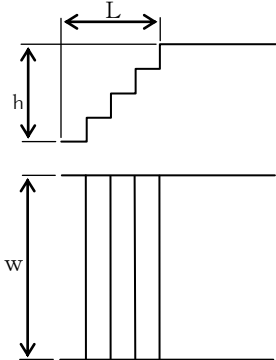
測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。</p>		
<p>$d = \frac{D}{n-1}$</p> <p>D：本間の長さ n：10 本程度とする φ：鉄筋径</p> <p>工事の規模に応じて、1 リフト、1 ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編：標準 7 編 2 章 2.1）参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書（Ⅲコンクリート橋編 6.6）による。</p> <p>注 1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。</p> <p>注 2) 橋梁コンクリート床版桁（PC 橋含む）の鉄筋については、第 3 編 2-18-2 床版工を適用する。</p> <p>注 3) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積 25 m²以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外）の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」も併せて適用する</p>		

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	11		コンクリート面塗装工	塗料使用量	鋼道路橋防食便覧Ⅱ-82「表-Ⅱ.5.5 各塗料の標準使用量と標準膜厚」の標準使用量以上。
						13	1
			断面の外形寸法	± 5			
			橋桁のそり δ_1	± 8			
			横方向の曲がり δ_2	± 10			
				2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ桁)	桁 長 L	± 10…… L ≤ 10m ± L/1000…… L > 10m
断面の外形寸法	± 5						
橋桁のそり δ_1	± 8						
横方向の曲がり δ_2	± 10						

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	18		根固めブロック工	層積	基 準 高 ∇	± 100
							厚 さ t	-20
							幅 w_1, w_2	-20
							延長 $L_1 L_2$	-200
						乱積	基 準 高 ∇	$\pm t / 2$
							延長 $L_1 L_2$	$- t / 2$
						19		沈床工
			幅 w	± 300				
			延 長 L	-200				
			20		捨石工	基 準 高 ∇	-100	
						幅 w	-100	
						延 長 L	-200	
			23		階段工	幅 w	-30	
						高 さ h	-30	
						長 さ L	-30	
						段 数	± 0 段	

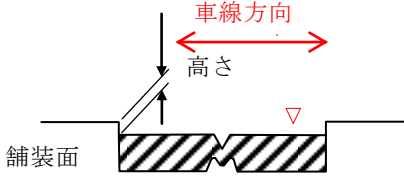
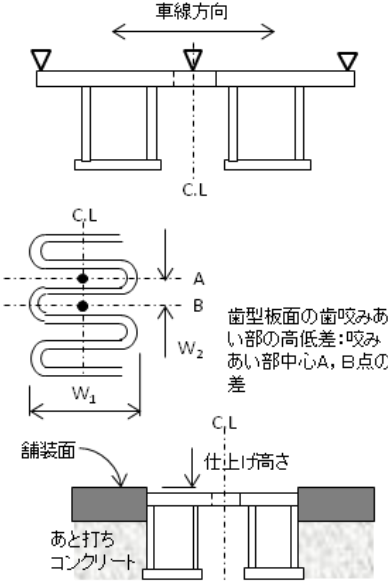
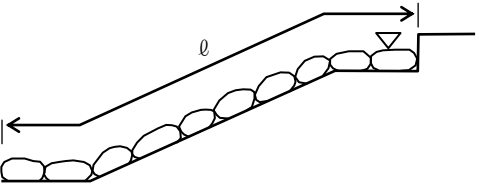
【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>	 <p>t は根固ブロックの高さ</p>	
<p>幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。</p>		
<p>1 施工箇所毎</p>		
<p>1 組毎</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>1 回 / 1 施工箇所</p>		

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	26	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け 高 さ	± 3	
						表 面 の 凹 凸	3	
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～- 2	
			26	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	高 さ	据 付 け 高 さ	± 3
							車線方向各点誤差 の相対差	3
						表 面 の 凹 凸	3	
						歯型板面の歯咬み 合い部の高低差	2	
						歯咬み合い部の縦方向 間隔W ₁	± 2	
						歯咬み合い部の横方向 間隔W ₂	± 5	
仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～- 2							
		28	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基 準 高 ▽	±500		
					法 長 ℓ	-200		
					延 長 L	-200		

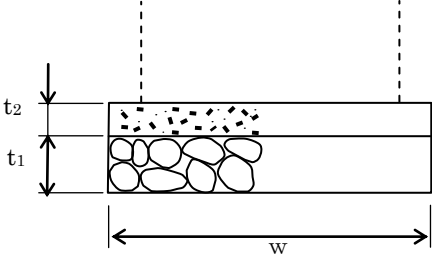
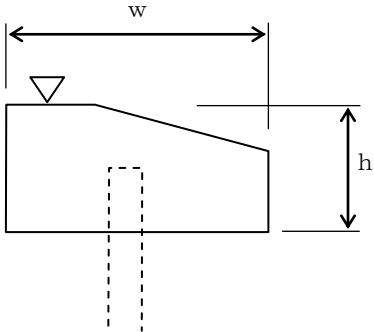
【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

測定基準	測定箇所	摘要
<p>車道端部及び中央部付近の 3 点を測定。</p> <p>表面の凹凸は長手方向（橋軸直角方向）に 3m の直線定規で測って凹凸が 3mm 以下</p>		
<p>高さについては車道端部、中央部において車線方向に各 3 点計 9 点。</p> <p>表面の凹凸は長手方向（橋軸直角方向）に 3m の直線定規で測って凹凸が 3mm 以下</p> <p>歯咬み合い部は車道端部、中央部の 3 点。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

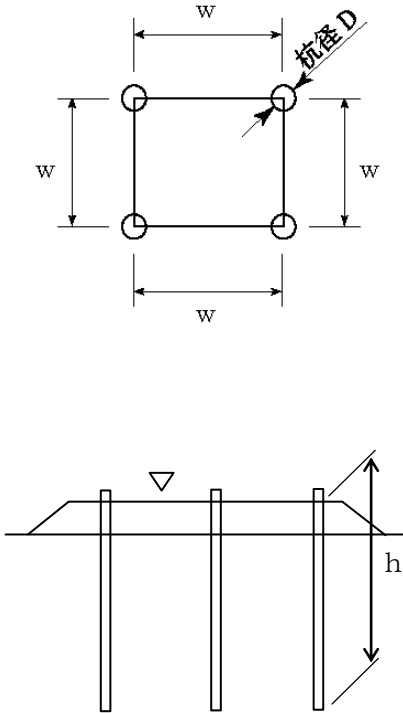
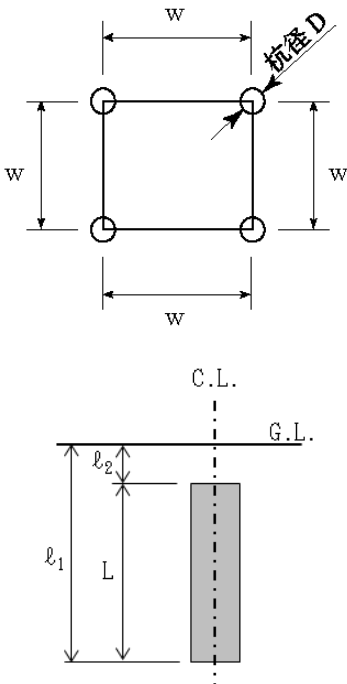
【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	33		現場塗装工	塗 膜 厚	a. ロットの塗膜厚の平均値は目標塗膜厚合計値の 90%以上。 b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の 70%以上。 c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の 20%以下。 ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。
							4 基礎工
		厚 さ t_1, t_2	-30				
		延 長 L	各構造物の規格値による。				
		3	1	基礎工（護岸） （現場打）	基 準 高 ∇	±30	
					幅 w	-30	
					高 さ h	-30	
					延 長 L	-200	

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

測定基準	測定箇所	摘要
<p>塗装終了時に測定。 1 ロットの大きさは、500 m²とする。 1 ロット当たりの測定数は 25 点とし、 各点の測定は 5 回行い、その平均値をその 点の測定値とする。ただし、1 ロットの 面積が 200m² に満たない場合は 10m² ごとに 1 点とする。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		
<p>施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。</p>		

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

測定基準	測定箇所	摘要	
<p>100 本に 1 箇所。 100 本以下は 2 箇所測定。 1 箇所に 4 本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。</p>	 <p>※余長は、適用除外</p>		
<p>全本数</p>			
<p>全本数 計器管理にかえることができる。</p>			
<p>100 本に 1 箇所。 100 本以下は 2 箇所測定。 1 箇所に 4 本測定。</p>			
<p>全本数</p> <p>$L = l_1 - l_2$</p> <p>l_1 は改良体先端深度 l_2 は改良端天端深度</p>			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	11		工場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の 90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の 70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の 20%以下。</p> <p>ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

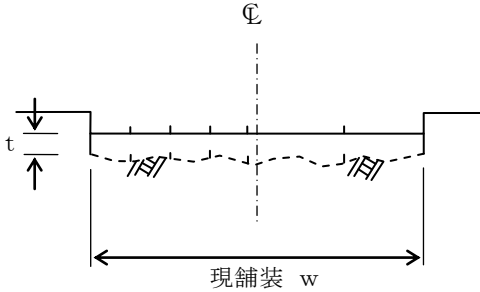
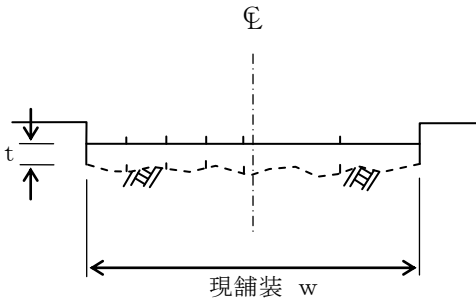
測定基準	測定箇所	摘要
<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗布後と上塗り終了後に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1 ロットの大きさは、500 m²とする。</p> <p>1 ロット当たり測定数は 25 点とし、各点の測定は 5 回行い、その平均値をその点の測定値とする。</p> <p>ただし、1 ロットの面積が 200m² に満たない場合は 10m² ごとに 1 点とする。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC 橋脚工	9		橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基 準 高 ∇	±20	
						厚 さ t	-20	
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-20	
						敷 幅 w_2 (橋軸方向)	-50	
						高 さ h	-50	
						天 端 長 l_1	-50	
						敷 長 l_2	-50	
						橋脚中心間距離 l	±30	
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50	
						アンカーボルトの箱抜き規格値	計 画 高	+10~-20
							平面位置	±20
							アンカーボルト 孔の鉛直度	1/50 以下

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
							コンクリート橋	鋼橋
10 道路編	4 橋梁上部	5 工場製作工 共通	10		支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注 1)	± 5	
						可動支承の移動 可能量 注 2)	設計移動量 +10 以上	
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋	鋼橋
							± 5	4+0.5 × (B-2)
						下 沓 の 水 平 度	橋 軸 方 向	1 / 100
							橋軸直角方向	
						可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5	
					可動支承の移動量 注 3)	温度変化に伴う移動 量計算値 1/2 の以上		
					支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注 1)	± 5	
						可動支承の移動 可能量 注 2)	設計移動量 +10 以上	
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)	コンクリート 橋	鋼橋
							± 5	4+0.5× (B-2)
						支 承 の 水 平 度	橋 軸 方 向	1 / 300
橋軸直角方向								
可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差	5							
可動支承の移動量 注 3)	温度変化に伴う移動 量計算値 1/2 の以上							

測定基準	測定箇所	摘要
<p>支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m）</p> <p>支承の平面寸法が 300 mm以下の場合 は、水平面の高低差を 1 mm以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合 を除く。</p> <p>注 1)先固定の場合は、支承上面で測 定する。</p> <p>注 2)可動支承の遊間(La, Lb)を計測 し、支承据付時にオフセット量 δを考慮して、移動可能量が道 路橋支承便覧の規格値を満たす ことを確認する。</p> <p>注 3)可動支承移動量検査は、架設完 了後に実施する。</p> <p>詳細は、道路橋支承便覧参照。</p>		
<p>支承全数を測定。 B：支承中心間隔（m）</p> <p>上部構造部材下面とゴム支承面との 接触面及びゴム支承と台座モルタル との接触面に肌すきが無いことを確 認。</p> <p>支承の平面寸法が 300 mm以下の場合 は、水平面の高低差を 1 mm以下とする。 なお、支承を勾配なりに据付ける場合 を除く。</p> <p>注 1)先固定の場合は、支承上面で測 定する。</p> <p>注 2)可動支承の遊間(La, Lb)を計測 し、支承据付時にオフセット量 δを考慮して、移動可能量が道 路橋支承便覧の規格値を満たす ことを確認する。</p> <p>注 3)可動支承移動量検査は、架設完 了後に実施する。</p> <p>詳細は、道路橋支承便覧参照。</p>		

【技企第 1100 号 平成 27 年 7 月 1 日付 改定】

測定基準	測定箇所	摘要
<p>厚さは 40m 毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長 80m 毎に 1 箇所割とし、延長 80m 未満の場合は、2 箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。</p>	 <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>	
<p>幅は延長 80m 毎に 1 箇所割で測定。 厚さは、各車線 200m 毎に左右両端及び中央の 3 点を掘り起こして測定。</p>		

2